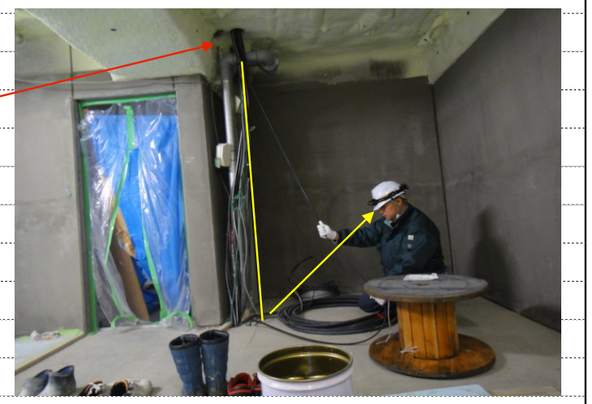
パイプシャフトから落下したコンクリート片が目に入る

その他ー１

災害発生時記録	発生月日　時	11月　12日（土）　14時30分		工事内容	分譲マンション新築工事ーRC造　15階　延床6430m2　69戸	
	被災者	職種	電工	経験年	1	所属　元請　直営　○1次会社　1人親方　請負外契約
	被災程度	右眼角膜上皮剥離				
	災害発生状況（写真）	被災者はセンター棟1階トランクルームでパイプシャフトの幹線ケーブルの通線工事を行っていた。 ケーブルを引き込もうと引っ張った時、2階パイプシャフト孔付近に落ちていたコンクリート片（1cm未満）が 落下し、跳ねて被災者の右眼に入った。 尚普段からコンクリート片や木片などが落下する事象は度々、 発生していた。				初期の対策状況含む事項(写真含) 眼科の病院にて、精密検査を受け眼球の一部に傷があり出血。 コンガラが落下したパイプシャフト孔



番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	小さな破片だったので危険だと思わなかった。	◎			1、小さい物でも間に入ると危険であることをKY活動時に確認し 、防護めがねを使用させる。	日常から度々、落下物が確認されていたので あれば何らかの対策が必要だった。
2	シャフト孔付近にコンクリート片、木片などが落ちていた。			○	2、作業開始前にシャフト孔付近の清掃を行うよう指示の徹底をする。	

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。(添付要因資料参照)